

## 杏林大学言語聴覚研究会「あんずコロキウム」紹介

コロキウム (colloquium) とは研究者や学者による学術的な討論会、研究会、会議、セミナー等を意味するラテン語です。「あんずコロキウム」は杏林大学保健学部の言語聴覚聴覚士教員と学生の有志が運営するコロキウムであり、今回 (2025年3月9日 菊池良和先生ご講演) が初めての開催となります。

今後は音声、言語、聴覚に関連する臨床のヒント、最近の学会での話題や研究成果に関するテーマを幅広く取り上げ、講演会やセミナーの開催を通して、言語聴覚士を目指す学生をはじめ、医療・教育・介護・福祉の現場で働く言語聴覚士、さらには音声・言語・聴覚に興味を持つ一般の方々に学びと連携の場をご提供したいと考えています。

2024年11月10日

「あんずコロキウム」実行委員会  
代表 石毛 美代子

### あんずコロキウム 第1回講演「STが吃音臨床を始めたくなる 3つの理由」 講演者 菊池良和先生 ご紹介

中学1年生の時に「吃音の悩みから救われるためには医者になるしかない」と思い、猛勉強の末、鹿児島ラ・サール高校卒業後、1999年九州大学医学部に入学。医師となり、研修医を2年間終えた後、2007年に九州大学耳鼻咽喉科に入局。2008年より九州大学大学院に進学し臨床神経生理学教室で「脳磁図」を用いた吃音者の脳研究を行い、国内外での受賞をしている。現在、九州大学病院耳鼻咽喉科で吃音外来を担当し600名以上の診察歴あり。吃音の著書は15冊出版し、吃音の講演会を全国各地で行っている。医師の立場で吃音の臨床、教育、研究を精力的に行っている。(以上、菊池先生ご本人による。)

#### 著書

- ・「吃音ドクターが教える「なおしたい」吃音との向き合い方」学苑社、2024年
- ・「もう迷わない!ことばの教室の吃音指導」学苑社、2022年
- ・「保護者からの質問に自信を持って答える 吃音Q&A」日本医事新報社、2021年
- ・「保護者の声に寄り添い、学ぶ吃音のある子どもと家族の支援」学苑社、2020年
- ・「吃音の合理的配慮」、学苑社、2019年
- ・「吃音の世界」、光文社新書、2019年
- ・「子どもの吃音 ママ応援BOOK」、学苑社、2016年
- ・「吃音のことがよくわかる本 (監修)」、講談社、2015年
- ・「吃音のリスクマネジメント」、学苑社、2014年
- ・「エビデンスに基づいた吃音支援入門」、学苑社、2012年
- ・「ボクは吃音ドクターです」、毎日新聞社、2011年

#### テレビ出演

- ・NHKEテレ「バリバラ～障害者情報バラエティー～」2013年
- ・「NNNドキュメント」2012年